

平成28年度学習定着度に関する調査（5年生）の結果について

先日、福岡市教育委員会より、昨年12月に実施した「平成28年度 学習状況調査」の結果通知を受けました。その概要などについて皆様にお知らせいたします。

1 結果概要

調査対象となった教科は、国語科と算数科2教科です。また、福岡市平均と比較した本校の状況は次表の通りです。

国 語 (総 合)	
福岡市平均と比べ上回っている	
算 数 (総 合)	
福岡市平均と比べ上回っている	

国 語 (観点別)		算 数 (観点別)	
話す・聞く能力	やや上回っている	数学的考え方	上回っている
書く能力	上回っている	技能	上回っている
読む能力	上回っている	知識・理解	上回っている
言語事項	上回っている		

表記の通り、国語科も算数科もすべての観点で、福岡市の平均と比べ上回っているという結果を得ました。次に大問別得点率の結果をお知らせします。

国 語	大 問 の 分 類		福岡市との比較
	言語事項(漢字)	上回っている	
言語事項(古文・俳句等)		やや上回っている	
書くこと		上回っている	
話すこと・聞くこと		やや上回っている	
読むこと(説明的文章)		上回っている	
読むこと(文学的文章)		上回っている	

*大問ごとの結果も福岡市の平均を大きく上回るものが多く、全体として結果は良好であると言えます。

算 数	大 問 の 分 類		福岡市との比較
	整数・分数の計算・倍を求める文章題	上回っている	
数の構成 数の性質		上回っている	
面積 体積 容積		やや上回っている	
角の大きさ		上回っている	
表の整理		やや上回っている	
比例		上回っている	
単位量あたりの大きさ		上回っている	
合同な図形		やや上回っている	

2 結果を受けた今後の指導方針等について

当該学年の児童は、前年度も同様の調査を実施しています。前年度と今年度を比較すると、国語においては、言語事項(漢字)の分野で、伸びが見られます。また、「読むこと」特に、文学的文章の読みについては、福岡市平均をかなり大きく上回っており、学力の高さが顕著です。逆に、話すこと・聞くことの観点では、福岡市平均を大きく上回っていた昨年度に比べ、数ポイントの差に止まってしまいました。算数では、昨年度と比較し、数学的な考え方について大きな伸びを見せています。特筆すべきは、小学校算数の中でも、難解で多くの児童がつまずきを感じるとされている「比例」や「単位量あたりの大きさ」で福岡市平均を大きく上回ったことです。数学的な考え方方が伸びたことと重ね合わせると、数式の意味を考えたり、説明したりする能力が全体的に高くなっていると考えられます。

今後とも、教えることと考えさせることを区別するとともに、子どもにとってわかりやすく楽しい授業を展開できるよう努力していきたいと考えます。また、学習内容が十分に定着していないと思われる児童については、今後の「補充・発展学習」のなかで、学習内容を確実に理解させるよう努力していく所存です。

